

後援会

イマヌエル
聖宣神学院後援会
http://btc.jp.n/

BTC後援会創立4年目を迎えて



会長 中山朝雄
(中目黒教会)

新型コロナウイルスの感染防止のため第75次年会が中止され6月に延期となりました。また、卒業式も中止となり3月24日本部で卒業証書授与式を内山代表の派遣祈祷をもつて当教団の3名の卒業生(峯尾仰生兄、中尾敬一兄、竹内俊之兄)を送り出すという想定外の新年度出発となり、北九州、武蔵村山、姫路の各教会にそれぞれ任命されました。任地で主任牧師としてのご奉仕の上に主の豊かな祝福がありますようにお祈りいたします。

今年に任命で聖宣神学院長の

河村徳彦先生が任期満了に伴い退任され、聖宣神学院運営委員の林正弘先生(船橋教会主任牧師)が就任されました。

河村先生は9年間にわたる新生BTCのために、神学生の主体性を尊重して恵みの神学を指導され、受け手の立場に立ったパスター・インディを身に付けた牧師の輩出に尽力いただきました。これから学監として、林正弘聖宣神学院長を支えていただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

また、今年の新入生は林眞光兄(蒲田シオン教会)と金承柱兄(東京フリーメソジストみずほ台教会)の2名をお迎えしました。(ご入学おめでとうございませう。これからの学びと訓練の上に主の豊かなお導きが與りますように、後援会一同祈りをもって応援させていただきます。

今年に当教団出身の新入生は残念ながら与えられませんでした。私達は日々、今後の教団を支える献身者が興されますようにと心を合わせてお祈りしておりますが、どうして与えられないのでしょうか?主の御手が短くて与えられないのでしょうか?

一見よ、主の手が短くて救えないのではない。その耳が遠くて聞けないのではない。むしろ、あなたがたの答が、あなたがた、あなたがたの神との仕切りとなり、あなたがたの罪が

御顔を隠させ、聞いてくださらないようにしたのだ。」

(イザヤ59章1〜2節)

このみ言葉が胸に刺さります。私達の側にその原因があるのかも知れません。祈り手である私達は本当に喜んで主に仕える霊をもって、志を持っている魂に對して範を示しているのか、また献身者にとって教団は将来を託すことのできる拠り所となっていないのか、を問われてはならないかと思われまします。私達一人一人の信仰の刷新と、教団は献身者の将来を支えるための技術的対策を打ち出す必要に迫られているのではないのでしょうか。引き続き祈りながら、主の最善の導きをいただきましたと思います。

BTC後援会は、2017年3月の年會時に発足し早いもので今年4年目を迎えました。これまでの皆様のお祈りとご支援にお願いいたします。

現在の後援会活動資金は、BTC一般会計から計上していただいておりますが、今後は「B

◆日々お祈りください

①献身に導かれる方が与えられるように。

②神学生の学びと訓練が促されるように。

③教師、職員、スタッフが恵みによって尊く用いられるように。

④BTCキャンパスが教団施設として、ベテルハウスとともに尊く用いられるように。

目次

会長巻頭言	1
祈りの課題	1
BTC70周年感謝献金収支報告	2
中部地区世話人会報告	3
2020年度春季新入生紹介	3
新聖宣神学院院長ご挨拶	4
2020年第67期卒業生紹介	4
聖宣神学院教師陣に聞く	5
BTCの1日紹介	5
2019年BTC年末封じ戸報告	5
推進委員からひとこと	6
字監コラム	6
編集後記	6

TTC後援会)として独立した会計をもって運営していきたいと願っております。

そこで各教会がBTC後援会費として1教会あたり月額1口500円をご協力いただければ感謝です(詳細は後援会たより第8号に記載いたします)。何卒ご理解とご協力をいただきます。よろしくお願いいたします。



⑤新しく神学院院长に就任された林正弘先生が霊肉共に祝され守られますように。

⑥同窓生の先生方が尊く用いられるように。

⑦神学院の必要が豊かに満たされるように。

⑧後援会の役員、推進委員、全国の世話人が尊く用いられるように。